

刈り払い・耕起等による保全管理だけでは、 ヨシは抑制できない

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事業名 福島県営農再開支援事業

小事業名 営農再開に向けた作付・飼養実証

研究課題名 除染後保全管理中の農地の植生と病害虫等の発生実態

担当者名 松木伸浩・矢ヶ崎泰海

I 実証技術の解説

1 要旨

保全管理中の農地では、刈り払い・耕起等による管理だけではヨシの発生を抑制できず、漸増するため、水稻栽培再開前年のヨシ対策が重要である。

- (1) 保全管理中の除染後農地におけるヨシの発生状況を 3 年間継続調査した結果、畦畔、ほ場内ともにヨシ発生ほ場の割合が漸増した(表1)。
- (2) 前年までの保全管理中に、ヨシを刈り払い・耕起等により管理を行い、本年水稻作付けを再開したほ場において、本田内にヨシの再生が確認された(図1)。

2 期待される効果

- (1) 保全管理後、水稻の作付けを再開する際の参考となる。

3 活用上の留意点

- (1) 調査は、飯舘村で実施した。
- (2) 水稻栽培期間中のヨシ防除は困難であるため、保全管理中の農地にヨシがみられる場合は、「除染後水田のヨシ防除対策」(農研機構、2018)を参考にして水稻作付けの前年にグリホサートカリウム塩 48%液剤(薬剤量:1L/10a、散布液量:25L/10a)を散布する。
- (3) 除草剤を使用する際は、登録内容をラベル等で確認する。

II 具体的データ等

表1 除染後農地におけるヨシの発生状況(飯館村)

保全管理方法 ^{注1}			調査 ほ場数	ヨシの発生が確認されたほ場数 ^{注2}					
				畦畔			ほ場内		
2016	2017	2018		2016	2017	2018	2016	2017	2018
刈り払い	刈り払い	刈り払い	6	0	2	1	2	1	2
刈り払い・耕起	刈り払い	刈り払い	9	4	4	4	1	2	5
刈り払い	耕起	刈り払い	3	1	1	2	0	2	2
耕起	耕起	刈り払い	1	1	1	1	1	1	1
耕起	耕起	耕起	4	2	2	2	2	2	2
計			23	8 (34.8)	10 (43.5)	10 (43.5)	6 (26.1)	8 (34.8)	12 (52.2)

注1) 畦畔は全て刈り払いによる管理。緑肥・景観作物作付けは、耕起に含めた。

注2) 飯館村(25筆)において7、11月に畦畔、ほ場内それぞれについて、ヨシ発生の有無を観察により調査した。

()内の数値:%。



図1 営農再開後の水田に発生したヨシ

III その他

1 執筆者

松木伸浩

2 実施期間

平成30年度

3 活用した技術のポイント(参考文献・資料等)

(1) 除染後水田のヨシ防除対策(農研機構、2018)

(2) 茎葉処理除草剤を用いた営農再開前のヨシ対策(平成29年度営農再開実証技術情報)